

縁を結んで Let's be happy



コンカツ計画



平成26年2月19日に縁結びのまちとして名高い島根県出雲市で結婚した枕崎の「鯉節」と稚内の「昆布」コンブとカツオでコンカツ(昆鯉)コンカツプロジェクトの始まりです
先月、結婚2周年を迎えた昆布と鯉節
出汁の効いた交流はますます盛んになっています
今回、人と人、町と町を結び地域の活性化を目指す
コンカツプロジェクトの取り組みや
プロジェクトに携わる人たち取材しました



【南方神社の並立鳥居】 厳かな雰囲気漂う南方神社に並んで立つ夫婦の鳥居。それぞれの鳥居先にある本殿には、建御名方神(タケミナカタノカミ)とその妃神である八坂刀売神(ヤサカトメノカミ)が祀られています。参拝の行きと帰りで別々の鳥居をくぐることで、良縁が舞い込むかも…。

「枕」

崎市と稚内市は、出汁の基本となる鯉節と昆布が特産品として有名です。その鯉節と昆布が夫婦となることで、さまざまなアイデアが生まれ、両市の地域活性化につながっていきたく思っただけです」と話すのはコンカツプロジェクト実行委員長の中釜章智さん。中釜さんは、枕崎水産加工業協同組合の職員で、これまで市内外での出汁取り教室を始め、鯉節の普及に取り組んできました。その中釜さんのアイデアで、昆布と鯉節の出雲大社での結婚が実現しました。

平成26年に発足したコンカツプロジェクト協議会(神園征会長)では、これまでに東京都庁でのPR活動や昨年12組のカツプルが誕生した婚活イベント「ミナカツ」の実施、コンカツスポットやコンカツグルメなどを楽しむスタンプラリーを開催してきました。また、市内事業者によるコンカツ商品の開発・販売や鯉節メニユーの学校給食での提供、市内音楽グループによるコンカツソングの製作など、「コンカツ」は広がりを見せています。

しかし、これまでの活動を振り返り、反省点もあると中釜さんは言います。

「枕崎市民にこのプロジェクトがどれだけ浸透してるとしよう。市外への広がりの方が強い気もするので、枕崎の人たちにもっと知ってもらって『自分たちで枕崎を変えよう』と伝えていきたい。そして、その姿を子どもたちに見てもらって何か感じて欲しいです。そのためにも、まだまだ熱くならないといけないですね」と話します。

今後は、枕崎市と稚内市にある高校同士の交流やスイーツコンテストなどを実施したいと話す中釜さん。今後の目標は、「一人でも多くの人に『枕崎を幸せにしたい』という気持ちを芽生えさせること」と意気込みます。

現在開催中のコンカツスタンプラリーについては「スタンプラリーに参加して、枕崎のいろいろな部分を再認識してもらって、枕崎のいいところを少しでも発見してほしいです。そして、枕崎のことをもっと好きになってもらえたいなと思います」と話していました。



コンカツプロジェクト実行委員長
中釜 章智さん